

産学官で金大病院支援

地域医療支援センター設立

医師の養成と確保を「」の設立総会が一日、興の研究や研修医・専担う金大附属病院を産同病院で開かれ、定款門医の養成を支援し、学官で支える法人「県」や事業計画を決めた。医療従事者への研修会地域医療支援センタ金大が行う地域医療振や、一般向けのシンポ

ジウムなどを計画している。産学官の協力で地域に根差す大病院を支える法人は、全国的にみても珍しい。法人の形態は、剰余金の分配を目的としない非営利の中間法人とし、役員は金大や県などから選

出した。事務局は金大附属病院に置き、三百万円の基金を設ける。近く「総務」「医師養成支援」「臨床及び研究支援」「地域医療確保活動」の各種委員会を設け、県も各委員

金大名誉教授が選任された。理事の一人、富田勝郎金大附属病院長は「企業が事業に関わる仕組みに知恵を絞りたい」と抱負を述べた。理事長、富田理事を除く役員は次の各氏。

- ▽理事 古川伸(金大副学長) 病院担当理事 太田哲生
- (金大附属病院副院長) 並木幹夫(同) 山岸正和(金大附属病院後臨床研修センター) 金子周一(金大附属病院消化器内科長) 渡邊剛(金大附属病院心臓血管外科長) 小藤幹恵(金大附属病院副院長) 看護部長 伊藤健一(同) 病院部長 森久規(健康福祉部長) 針田哲(県参事兼健康福祉部次長) 山崎正美(弁護士) 監事 大嶋三郎(プロシキト医心理事長) 鳥善昭(税理士)

理事長には竹田亮祐